



ZERO-SAAS

＼AIでスピード開発をもっと身近に！／

0円開発を実現！

無料実施相談中

2026年1月26日

いま困っていること

多くの企業がSaaS開発において直面する課題は、コストと柔軟性のバランスです。既存のソリューションは全ニーズを満たさず、カスタム開発は高額で時間がかかります。リスクを最小化しながらスピーディーにスタートする方法が求められています。

既存SaaSが「あと一歩」合わない

一般的なSaaSでは特殊なニーズに対応できず、業務プロセスを変更せざるを得ない状況に苦慮しています

初期費用が重い

従来の受託開発では、初期コストが高く、投資回収までのリスクが大きいため決断が難しくなっています

要件が固まらない

業務プロセスが流動的で、開発前に要件を完全に確定できず、手戻りの発生を恐れています

小さく始めたい

大きな投資をする前に小規模で有効性を検証し、段階的に拡張していきたいと考えています

「作る」ハードルが高く、導入に踏み切れない...

コストと柔軟性の両立をめざし、**初期費用0円から**自社専用SaaSをスピーディーに提供。

まずは**最小機能（MVP）**で立ち上げ、月額課金でリスクを平準化。運用で得た学びをもとに、スクラッチで拡張しながら段階的に価値を高めます。

初期費用0円から開発可能！

月額課金でコストを平準化。まずは小規模に稼働させて効果を確認し、投資回収の見通しが立ってから拡張。

スクラッチ開発！

業務プロセスにシステムを合わせ、既存SaaSで対応できない特殊要件や既存基幹・SaaSとのAPI連携にも対応します。

徐々に機能追加！

「小さく始めて、効果を見ながら毎月進化」。優先度順に段階的リリースし、現場のフィードバックで継続改善します。

最小機能に限定して開発！

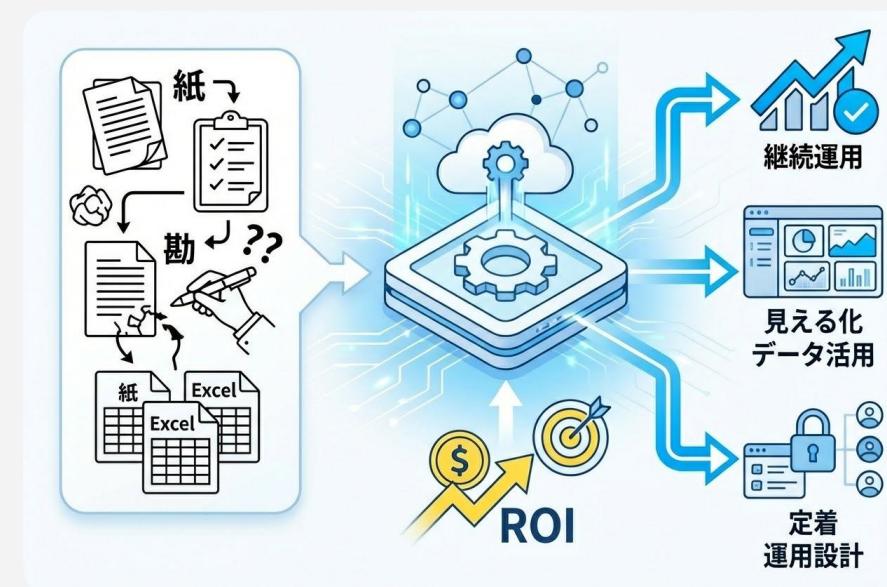
要件が流動的でも、KPI起点でMVPを定義。“最小で効く”必須フローだけを高速実装し、早期に運用価値を出します。

「作る」ハードルを下げ、早く使い始めて育てる

現場は「勘・紙・Excel」に依存し、

PoCが継続運用に移行しにくい状況が生じています。

- 点検・保全が属人化し、異常の兆候を見逃しやすい（停止・事故・品質劣化）
- データが散在し、報告・監査が手作業になり、現場負担が増大する
- 初期コストが高く、ROIが見えないため、PoCで止まりやすい
- 運用設計（アラート、権限、手順）が不足し、定着しにくい



解決アプローチ

私たちの解決アプローチは、従来のSaaS開発の課題を解消し、スピード感を持って価値を生み出すことを重視しています。SDK+AIによる自動生成を活用し、各工程の無駄を省き、最短2-6週間でのリリースを実現。初期開発の負担を減らし、実際に使いながら育していく柔軟なモデルです。

初期費用0円は「最低利用期間コミット」で実現します

要求から実装までのパイプライン

- 1 要求**
優先度の高いユースケースに集中、無駄な案件を削減
- 2 設計**
テンプレート活用と標準化で設計工数を大幅削減
- 3 自動生成**
AIとSDKで基本コード生成、手作業を最小化
- 4 実装**
カスタム部分のみ人間が集中、精度と品質向上
- 5 テスト**
自動テスト活用で検証時間短縮、安定性確保
- 6 リリース**
CI/CD連携で安全かつスピーディな展開

進め方と期間

プロジェクトは明確な5ステップで進行します。各ステップで顧客と当社の役割を明確に分け、効率的に進めていきます。

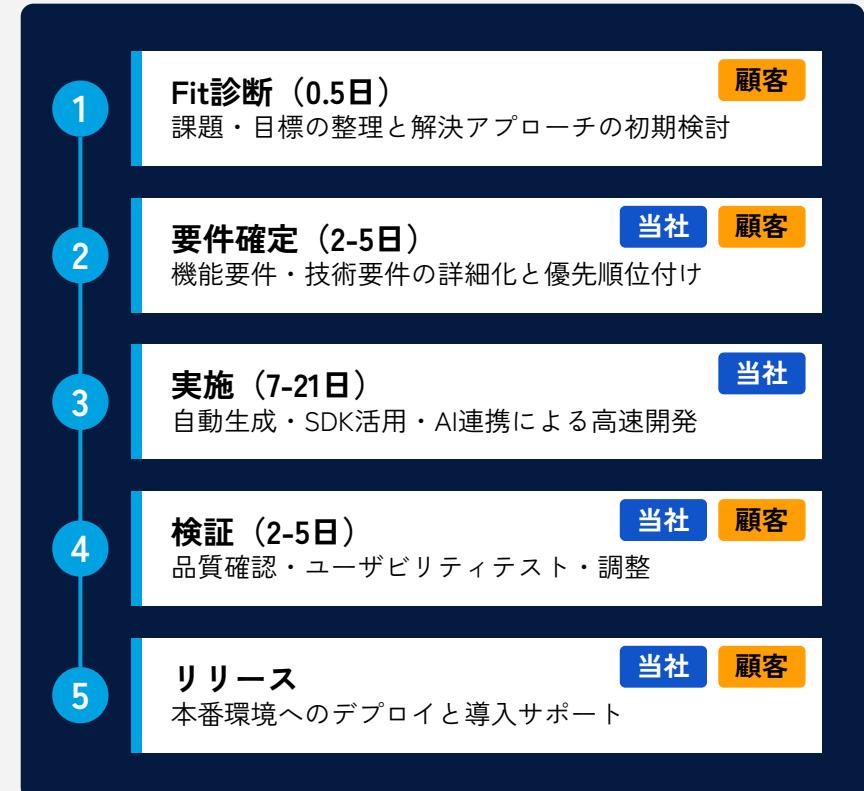
顧客

要件提供・確認・検証

顧客

設計・開発・テスト・デプロイ

※ 期間は目安です。連携システム数・機能の難易度・ビジネスロジックの複雑さにより変動します。



システム導入の価値

システム導入により、業務プロセスの効率が飛躍的に向上します。入力工数、承認プロセス、データ転記ミス、集計作業などの負担が大幅に軽減され、本来の業務に集中できる環境が整います。

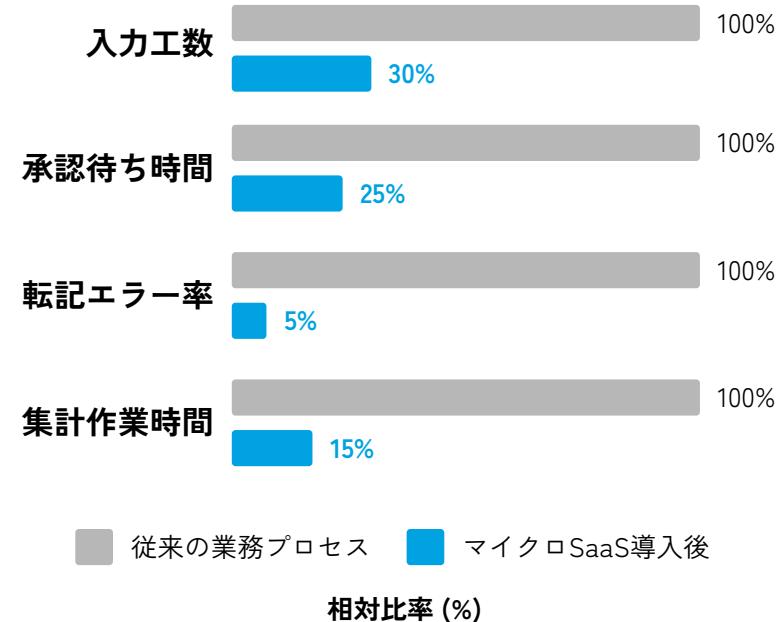
業務フローの直線化



ポイント

まずは最小構成で「効果の早さ」を取りにいくことで、リスクを抑えながら確実に業務改善を実現します。必要に応じて機能を拡張していくアプローチが効果的です。

Before/After 効果比較



費用モデル - サブスク型

開発の費用モデルは、従来の受託開発と異なり、初期費用を抑えて継続的な価値提供とコスト回収を両立させる設計になっています。

初期費用0円を実現しながらも、高品質な開発を提供できる仕組みを透明性をもってご説明します。

最低利用期間のコミットにより、初期投資の回収を計画的に行い、お客様には低リスクでの導入と段階的な機能拡張を可能にします。

料金構成サンプル

開発費償却

運用保守

クラウド費用

マージン

※ 実際の比率は案件により異なります。詳細は個別にご相談ください。

最終的に買取も可能

※ 成果物の著作権はポノテク株式会社に帰属します

月額料金の構成

$$\text{月額} = \frac{(\text{通常受託開発費} \times \text{回収係数})}{\text{回収期間}} + \text{運用} + \text{マージン}$$

最適な初期投資の回収と長期的な価値提供のバランスを取るための計算式です。回収係数は機能の複雑さや市場価値により調整されます。

追加開発の考え方

$$\text{追加開発} = \text{受託単価} \times \text{機能係数}$$

機能係数は難易度・非機能要件・外部連携数などにより変動します。SDK+AI活用により、従来の開発に比べて20-40%の工数削減を実現します。

見積プロセス

すべての案件は個別に見積もりを行います。Fit診断では概算費用をご提示し、要件定義フェーズで詳細な見積もりを確定させます。透明性のある価格設定で、初期コストを抑えながら、成長に合わせた拡張が可能です。

ポノテクが開発し、あなたのサービスとして販売できるモデル
売上はレビューシェア、初期費用は不要

レビューシェア方式

- 売上の一一部を分配（割合は相談の上決定）
- 初期開発費用は不要
- SaaSを自社プロダクトとして販売可能

利用シーン

- 自社プロダクト事業を始めたい
- 初期費用を抑えたい
- 事業を早く立ち上げたい

OEMは受託ではなく「事業」を作りたい企業のためのモデル

次の一步

マイクロSaaSの開発を検討されている方は、まずは無料Fit診断（30分）からスタートしましょう。お客様の課題やニーズを正確に把握し、最適なソリューション構築へと進めます。

無料Fit診断(30分)の流れ

1 ヒアリング

現状の課題・ニーズ・既存システムをお聞きします。

2 目標/制約整理

予算・期間・必須要件を確認し目標を設定

3 概算

スコープと概算見積の提示

4 次アクション

詳細要件定義または開発着手の判断

無料Fit診断の申し込みはこちら

<https://zero-saas.ponotech.net/#contact>

無料Fit診断はこちら！

